

# 金沢・東山20%上昇



観光客でにぎわひがし茶屋街。金沢市東山1丁目の

調査地点は県内トップの上昇率となった

全国の地方圏・商業地の上昇率順位

順位	所在地	基準地価格(円/m²)	変動率(%)
1	福岡市博多区冷泉町	1,270,000	23.3
2	福岡市博多区博多駅東1丁目	3,230,000	21.0
3	札幌市中央区南2条西5丁目	965,000	20.6
4	札幌市東山1丁目	325,000	20.4
5	札幌市中央区南9条西3丁目	395,000	19.7
6	札幌市中央区大通西10丁目	670,000	19.6
7	札幌市博多区中呑駅町	555,000	19.4
8	北海道恵庭市北1条西2丁目	31,000	19.2
9	札幌市北区北23条西4丁目	250,000	19.0
10	福岡市博多区東光2丁目	430,000	18.5

※東京、大阪、名古屋圏を除く  
※小数点第2位を四捨五入

## 基準地価

# 商業地伸び率地方4位

## 新幹線効果が持続

国土交通省は19日、今年7月1日時点の都道府県地価（基準地価）を発表した。石川県内の商業地では金沢市東山1丁目が前年比プラス20.4%で上昇幅が最も大きく、三大都市圏を除ぐ地方圏で4位の伸び率となった。同市内の伸びを受け、県内商業地の平均変動率はプラス0.4%（前年プラス0.6%）となり、2年連続で上昇した。北陸新幹線開業効果の持続や景気回復に伴い、地価の上昇傾向が続いている。

### 最高価格 金沢駅東92万円

商業地で2年連続25%台

の伸びを見ていた金沢駅

西の金沢市広岡1丁目の上

【4・5・6・14・37面に関連記事】

昇率は15.2%だった。伸び率が10%を超えたのはい

ずれも同市内の調査地点

で、前年の15カ所から9カ

所に減少した。新幹線開業

3年目に入り、伸びは鈍化

している。

金沢市東山1丁目は昨

年、調査地点に加わり、交

動率が公表されたのは今回

が初めて。商業地で三大都

市圏を含む上昇率の全国順

位は5110地点のうち、

19位だった。地価調査石川

分科会代表幹事の武田昭男

年連続で金沢駅東に位置す

した。

不動産鑑定士は「観光客を

中心に人通りが多い状態が

続いている」と話した。

商業地の市町別平均変動

率は金沢市と加賀市が上昇

率でした。

県内の最高価格地点は10

0円となり、金沢との差

は28万円から38万5千円に

拡大した。

一方、県内住宅地ではイ

オンモール新小松の開業な

ど商業施設が集積したこと

により、小松市沖町が10.

3%上昇し、最も高い伸び

率となった。伸び率は全

国で1万4656地点のうち、

高い方から12番目だった。

市町別の金用上昇率は金

沢市2.2%、野々市市0.

4%だった。このほかの

17市町は下落した。

# 首相25日に解散表明

商業地の全国平均は前年

比プラス0.5%で、9年

ぶりに下落が止まった前年

(0.005%)から上昇

率が拡大した。外国人旅行

者の増加に伴うホテル建設

や再開発の進展など不動産

需要の高まりや、日銀の金

融緩和による投資マネーの

流入を受け、三大都市圏が

3.5%上昇したほか、地

方の中核的な4市（札幌

・6%、札幌、仙台が8.

7%、広島が3.8%。住

宅地は4市平均で2.8%

のプラスだった。

地方圏全体では商業地が

0.6%、住宅地が1.0

%のマイナスだが、下げ幅

は縮まった。

# 北國新聞

2017年(平成29年)

9月20日(水)

発行所 北國新聞社

〒920-8588 金沢市南町2番1号

番号案内(076)253-2111

富山本社 〒930-8520 富山市大手町5番1号

◎北國新聞社 2017年

http://www.hokkoku.co.jp/

TEL (076)221-0162 http://www.mizo-dental.com

溝口デンタルオフィス

医療法人社団トータルマチビル

在宅療養支援歯科診療所  
総合受付五階



きょう  
ページ

38

がん日本海側で多く  
雪舟の「幻の水墨画」  
東証続伸2万円回復  
「働き方改革」先送り

7 11 35 36  
おくやみ 22.23面  
スポーツ 17.19面  
地鳴り 24面  
生活・文化 20.21面

金沢の勢いを地方にまで

る金沢市本町2丁目の商業地で、1平方m当たり92万円。前年より12.2%上昇し、北陸信越5県の最高価格地点でも5年連続の上昇幅だった。2位の新潟駅前(新潟市中央区東大通1丁)は0.9%下落の53万円となり、金沢との差は28万円から38万5千円に

縮めた。県内の平均地価は1平方m当たり6万200円で、全国で15番目のオノモール新小松の開業など商業施設が集積したこと

により、小松市沖町が10.3%上昇し、最も高い伸び率となった。伸び率は前年の0.5%から縮めた。県内の平均地価は1平方m当たり6万200円で、全国で15番目のオノモール新小松の開業など商業施設が集積したこと

により、小松市沖町が10.3%上昇し、最も高い伸び率

率となりた。伸び率は全国でマイナス0.6%。26年連続の下落だが、下げ幅は縮小した。雇用環境の改善や住宅高さだった。上昇は65地点で、前年61地点、横ばい59地点(同41地点)だった。

市町別の金用上昇率は金沢市2.2%、野々市市0.4%だった。このほかの17市町は下落した。

市町別の金用上昇率は金